

令和元年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	転職になってまだ2ヶ月だが住宅環境に不自由を感じられている方はさほど見られなくなっていると感じる。実際に町を歩いていても生活に不便を感じているという話はほとんど聞かえてこない。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	被災者の方々は落ち着くべくところに落ち着いて生活されていると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	生活は回復したと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	道路の通行止めが解除になったり、建物ができてきたりして復興が進んでいると感じる。楽しみ！
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	当初は約250世帯が入居していた当団地も自宅再建等で退去が進み現在は5世帯くらいとなっている。応援職員等の入居が多い状況。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅再建が進み、復興道路も完成し移動が便利になり生活面で良くなった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	震災当時は毎日の生活ができればと皆様からのお力を頂きながら一生懸命暮らした。震災前に持ち家に住んでいた方々はどうしても家を建てたいと願望が強く、資金繰りに面倒しながらも自宅再建を果たした方々が多く、今は大きな支払を抱えての生活は多くの被災者の現状だと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住宅も再建、公営住宅の建設も終わり、ハード面の復旧は目に見えて進んだが、ソフト面(精神面等)の支えがまだ必要なのでは。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	高台も完成し、住居も立ち並んでいる様。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	仮設住宅もなくなり、住宅を再建し震災前に近い生活環境になった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前と変わらなくなった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	被災者の住宅再建も急ピッチに進み仮設住宅も集約になり仮設も処々に解体が始まっている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	周りに仮設住宅がなくなり被災者の住宅再建が進んでいるため。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	久慈地区は早くに回復した。最近の様子の変化と聞かれ、回復はすでにしているので分かりません。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲の方々と詳しく話をしたわけではないが、生活は回復へと進んでいるのではないかと思われる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	仮設住宅が少なくなり、住宅の再建や公営住宅に入居する人が多い。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	新しく建設された住宅や店が目立ってきた。震災時の悲惨な状態を感じさせないぐらい活気があふれてきたと思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	町内で最も整地がおくれていた土地にも住居が建ち始めた。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	復興道路の開通および三陸鉄道の全線開通等、交通網の整備が進んだ。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	仮設住宅で暮らす方もなくなり、落ちついて生活できているように思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	生活の回復はできていると思われるが震災前とは違う住環境であるし、別の地域課題が見られる。また災害公営住宅団地の自治会の維持が難しそうだ。空き家に一般の方が入居し始めていて、その方々を含めたコミュニティ形成に困難を感じる人達が少なくない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	公営住宅の入居や住宅の再建も全て終わり新しい自治会も設立され、落ちついた生活になっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅から災害公営住宅やマイホームへの移転も着実に進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	陸前高田市は県内他市町村と比較し震災の被害も甚大であったことから回復は遅れている。高台造成が進み住宅再建の面で進んできている地区がある一方、区画整理の遅れから再建の目処が立たず、仮設での生活を余儀なくされている現実もある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・三陸道釜石道の開通 ・三陸鉄道全線の開通 ・一方で仮設住宅での生活を余儀なくされている方もまだいる。 ・インフラの整備はWC2019に合わせて急ピッチで進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から8年が経過し、9年目を迎えている現在、生活は平穏を取りもどしつつあるように思う。しかしながら、少子高齢化が徐々に不安感増しつつあるようだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	31年1月調査とほぼ同じ理由のため。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・住居の確保(自立再建・災害公営含む)は約9割程進んだものと思っている。 一部の方々は様々な条件によりまだ仮設住宅に強いられ住んでいる家族もある。 ・仕事関係はそれぞれ希望している仕事には就いている人々が多く見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	昨年11月に現在地に引っ越した。その時は周りも数軒しか家がなかったが、3月末には大分建ち、現在も建設中の家が数件ある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	人の声だが高台に移住した方が今は車での移動だから良いが、数年後の事を気にしている方も多いとの事。足・腰が不自由方も車での移動が見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	住んでいた仮設に残っている世帯がなくなった事。 住宅再建をしている方が多く見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	高台造成地の家(再建)はほぼ完成し住んでいる。仮設にまだ残っている方もいるが、少数(理由は様々)となった。 災害公営住宅も全て完成し住んでいる。住環境としては回復したと言って良いと思う。三陸道の開通により交通の便がとにかく良くなった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	山田町の中心部では新築が盛んに行われている。災害公営住宅への入居は終了した。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域住民は核家族化した状態は家ができて戻らない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	普段の生活は回復しているように感じるが、家の再建等での借入金の支払が残っており、家計は見たより楽ではないと思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	三陸鉄道の全面開通・県内沿岸自動車全面開通、住環境の自公再建や防波堤はあと一息で完成とインフラ整備は着々と進んでいるが、心のインフラ(コミュニティ)再生が急務と思われる。震災直後の時よりも孤独死が増えているような気がする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	造成地への住宅も整備され生活は落ちついて来たと思う。が、少し活気がない様に感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前と変わらない生活をしている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	住宅の再建をした人が増えたが、まだ建設工事の人や工事の順番待ちの人もある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	4月に職場で新しい人との出会いがあり、その中で被災された方々も数名いた。震災直後などに出会った方々は自分が被災していることを自らお話される方は少なかったように思うが、今年はほとんどお話されていた。それだけご本人の中で状況が回復したと感じていたからではないかと思われる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	三陸道や横断道路の開通は、地域にとって、とてもありがたいことだ。子供たちが自由に伸び伸びと遊べるような芝草広場や公園が必要。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	ワールドカップに向けた市の整備や三陸道の開通で便利になってきたと感じる。また、空き地に新築の家が増えた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設がなくなったこと。 公園が整備されたこと。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	本校生徒に仮設住宅からの通学が無いことから回復を感じる。しかし個々の生活面となるとまだ分からない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅が少なくなったのでは。マスコミ等の報道で知るところにより被災者が新しい住宅へと至っているとされる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	仮設住宅に住んでいる人がかなり減ったと思う。公営住宅はほとんど建ったが、空き部屋が多く戸建て住宅の現場が多いように感じる。ただの箱物にならないよう活用方法を検討した方が良いと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	住宅移転も終わり安定した生活が送れているように感じる。三陸道や三陸鉄道が開通し震災以前よりも便利になっている。復興工事が終わったあとの雇用は心配。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	新しい生活にも慣れ、それぞれ順調に毎日を送っているように見えるが、コミュニティの形成はまだまだだと思う。医療費の助成制度は今もあるようで、それを使って通院している方も多いようだ。この助成がなくなれば通院もやめるといった声も聞く。通院を控えるほど生活状況が安定しない世帯もあるのかと感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	雇用関係の数値は良い。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住宅再建もほぼ進んだと思われる。日常生活も表面的には落ちつきを取戻しているように見受けられる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	(1)人口減が著しく、賑わいも半減しているように感じる。内陸への避難者はもう戻らず、廃業も多い。 (2)自力再建可能な方は、ほぼ完了していると感じる。今後は自力再建できずにいる低所得者や独居老人の対策が必要になると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	公営住宅や三陸自動車道、三鉄など施設設備は大変立派になり震災前以上の環境となったが、公営住宅などでは個々の部屋が立派になりすぎ隣の状況がわからないようである。特に男性が孤立する傾向にあるようだが、行政はボランティア団体などの活動を制限する方向にあると感じる。ボランティア団体の活動も受け入れるなどして孤立状態を防げるようになれば回復したと思えるが、現状では「どちらとも言えない」としか判断できない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	街に活気が感じられる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生活は回復しているが地域全体が高齢化が進んでいる。体調を崩す人が増えている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	道路や防潮堤は進んでいる。仮設店舗なども作っていただいている。ただ漁業の方は生活の回復にはなっていないと思う。海藻類などの価格は高くなっているけれども、魚種によっては不漁(イカ・アワビ・サケ等)が続き、また働き方改革等によって市場・漁協の休みが多くなり、自然を相手の作業がとてもしづらくなってきた。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	生活そのものは落ち着いているように思える。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	生活は落ちついてきているように感じるが、月日が経過するごとに少子高齢化が進み近い将来集落としての機能不全になるのではないかと思う。対策は必要である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	道路状況の整備は進んでいる。しかしまだ仮設住宅で暮らし自宅再建の目処がたっていない人もいるので、変わらない生活をしていると思う。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	市内の仮設からは全世帯退去済みのようだ。ただし、その中でも自主再建できずに子供を頼る等して他地へ転出していった世帯もあると聞いている。 物価は以前より間違いなく上がっている状況、消費税の引き上げ等もあり、収入がなかなか増加しないようでは、今後の生活に対する不安のほうが100%大きいはず！！
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	私が住んでいる地区は現状態がほぼ再建完了となっていて、被災前と比較すると50%程度の回復だと思う。なにしろ町中「空き地」だらけ。自動車専用道路が開通したら一気に衰退するのは間違いないと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	当地は震災による被災者の住環境整備は完了したが、年を経るごとに高齢化が進み深刻な少子化で新しい街並で見かける人が極端に少なくなっている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	お年寄りや古くからの地域の友人と離れてしまい、なかなか会えなくなってしまった。つながりが保てないことは寂しさにつながっていると感じる。店が遠くなり、1人で買い物ができなくなった人もいる。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	復興のスピードが他の自治体より早いので、復興特需が終わりに近づくのも早く、景気が徐々に落ち込んできている。少子高齢化や水産物の水揚げ減少も加わっているため規制緩和などの措置を県に望みたい。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前と変わらなくなった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	復興道路の工事が久慈～野田間で全線に渡って工事を行っている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	テレビ等で水産加工関係の状況を知り、前進していることを感じている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	仮設店舗だったところがどんどん本設へと移っていき、震災前と同じような環境で商売していけると思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後の復興需要による建設業や関連業種が潤った感があるが、逆に今後が心配である。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	農業、漁業も被災前と変わらないくらい回復していると思う。商業は営業は以前と同じようなくらいまで回復しているが、今までなかった道路ができて商店のある地域を通らないでスーパーなどに行けるようになったので売上げに影響していると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	企業や地域の商店など立ち直りのその先を見据え、奮闘している様子。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	ただ地元に商店が無くなったので不便だ。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	全体としての生活実感としては回復したものと思われる。ただ、震災前に従事していた小型船での仕事を資金面や年齢の関係により離れざるを得ない人達があり、仕事の環境が大幅に変わってしまっている状況がある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	津波浸水地にトマト栽培施設が建設されたり、別途イチゴ農園建設の動きもある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	工場の設備、整備は進んでいるが慢性的な人手不足によりフル稼働に至っていない。貝毒の発生等、想定外の事象の発生、水揚げ量の減少等障害となることが次々に起こっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	(1)回復の兆しは見えつつも、基幹産業である水産業が振るわず、回復とは言い切れない。また、大規模公共工事に従事していた工事業者の撤退もあり、商店等の小売や飲食業は軒並み売上減となっており、設備投資が重荷になりつつある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	沿岸地区にとって主要な産業である漁業、それに伴う水産加工業は、後継者不足・人出不足で、先が見えない状況である。魚種については、サケはだいぶ回復基調にあるが、イカの不漁は深刻である。最近、ワカメも厳しい状況にある。自然が相手のことなので、やむを得ない面もあるが？
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	新しい事に取り組む様子がみられ活性化を計っている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	再建された店舗などもお客様も多くなり活気が感じられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業は回復したと思われるが今後漁業が基幹産業として地域経済を支えて行くには後継者不足等心配である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	続けたい方は様々な支援を受けて事業を続けているようだ。断念する人はその様にしてほぼ結果(続けるかどうかの)は出したと思われる。震災が起きてなくても地域経済は厳しかったと考えるとこんなものかなと思う。ただ支援があったからと言っても自己負担はあるので今後それがどの様に解消していけるかは未知。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	農林業は回復したと思う。水産業は海の近くの津波跡地が整備されてきた。大きい水産加工施設の工場が完成して稼働しはじめた。これから加工施設が建って来ると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	少人数でダラダラ長く工事が進みにくいようだ。防波堤工事は約半年くらい休止状態だ。漁民はたまらない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	自分の住んでいる越喜来地区は農業は自家用分の栽培で被災農地は殆ど耕作をしていないがJA大船渡は平成29年度も2億円超の剰余金を出し、経済の回復をみせている。一方、越喜来漁協は秋ザケの不漁、ホタテの死滅等が原因で4年度連続の赤字で経営は相当苦しい状況。建設業は仕事量は減ったことにより人員の削減を始めているところもみられるなど、復興需要が減る今後が心配である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災後、長男がリターンしてきたが仕事がなくアルバイト的な事しかできなかったが新規就農者支援制度を利用して農業者になった。色々な制度が簡単に利用できる様な仕組みになれば新しく農林水産業になる人々が増えるかも？
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	水産業の整備は完成しているが、肝心の魚介類が不漁。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	金融の制度が分かりづらく、どのようなものがあるのかわからない。浸透していない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	まずまずだと思われる。6ヶ月間だと変わらない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	三陸道路の整備が進み、RWCが目前になり様々な業種で活性化が進んでいると思うから(今後もこのように活性化していくことが続くことを望む)。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	・人口の減少！の影響 ・三陸道により便利が良いと思う面と町のにぎわいが欲しくなることが予想されることの不安はある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	新しい商店街を見るとかなり回復しているように感じる。しかしかつてあった店で今はなくなってしまった店は数え切れなく、切なさを感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	陸前高田市中心部アバッセに店が増えている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	以前と変わらないと思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	商業施設の建設が始まり進んでいるように感じる。反面、中心部の地域が虫食い状態で建物が建っているので数年後のイメージが沸かず商業施設による効果は一時的なもので衰退していくのではないかと感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路関連事業の振興によって地域経済は以前に比較すれば回復した感が強い。事業が終了した後について、経済復興策が見えてこないことに不安がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	三陸鉄道開通で利用者が増えており、イベント列車も好評の様子、このまま地域活性につながってほしい。 商業施設の造りがもうひとつとを感じる部分はある。女川のように飲食店や足湯など1ヶ所で1日滞在できるくらいの企画規模が望ましかったと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	水産物や農産物のブランド化の動きがとても目立ったように感じた。 今までは「とれてよかった」という感じだったが、今はその価値付けにシフトしていることに回復を感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	中心市街地への商業施設完成、まちなか会等も設立し一部の店舗、事業所は戻ってきてはいるが、当初の計画より事業所数はもちろん、スピード感も欠けている。土地の有効活用に向け行政、民間との連携強化が必要と考える。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	水産関係は天候不順の影響もあるが、回復というには程遠い状況である。中心商店街等の形成も立ち遅れ、にぎわい復活にはまだ相当の時間を要すると感じている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興の為に公共工事のお陰もあり、急速に回復したが地場産業(水産加工)の回復が見えない。公共工事の終了と共に地域経済が衰退してしまおうである。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	復興特需がかげりを見せるなか、これからが本当の意味での回復が見られるかどうか・・・。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅はなくなったが、住宅の再建が進んでいないようだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	基本的には30年7月調査の回答と同じ理由のため。震災から8年3ヶ月が経過し、仮設事業所は姿を消している。基幹産業の水産業を中心に産業の立て直しに鋭意努力しており、経営形態の変更に務めながら各事業所とも生き残りを賭けた経営を余儀なくされている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	自分は建設業に従事しているが、最近の仕事の量が減ってきていると感じている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	農家は人出不足から休耕田が多くなっていると感じる。 浜には活気が未だ戻っていない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	東日本大震災襲来以来、海況の大変化、併せて地球温暖化の影響か、暖海域の魚類が収穫されている。基幹魚種であるサケ、スルメイカ漁等が不振で定置漁業の経営を苦しめている。浅海漁業にあって、磯焼け現象が続く海藻不足は、ウニ・アワビの育成に多大に影響をもたらしている。 ・昨年12月23日完成した柳沢線細浦線は、山田市街地の動脈路線であり、様々に波及効果が期待されている。 ・JR山田線[宮古→釜石]が復旧になり、併せて新装陸中山田駅舎完成、リアス線に移管。来る3月、開通した。復興の喜びを感じる。 ・自動車専用道三陸道路、6月22日大槌～鵜住居間開通により、宮古～気仙沼まで繋がった。限らない経済効果が期待できる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	失った海産物の販路はまだ6割強しか回復していない。時間がかかりそうだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	住宅再建は進みつつあるが、働く場所がもっとあって欲しい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	建設、土木業は雇用面や地域経済にとって好影響は続いているが、小売業や一次産業は後継者不足の問題が非常に大きく苦しい状況である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	震災の影響かわからないが、海の底が砂漠化してウニなどが育たないと聞いた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	本設移転する企業が増えているが、まだ空き地もある。地元の小売り店の経営が厳しいのではないかと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	復興工事が進むに従い、それに従事していた方々が減ってきている。そのことによる地域への打撃も大きいと思う。 町全体の人口も減少している。本校(山田中)に至っては、震災前の537名から現在は266名と半減している。 今後、町民一丸となって山田町を盛り上げていかなければならないと痛感している。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災直後と比べてどうかと言われれば着実に回復に向けて進んでいるものと思われるが、震災にかかわらず地域の経済の活性化に向けた対策を講じる必要はあると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	復興需要が頭打ちとなり、物価の上昇を考えれば地域経済は後退傾向にあるのかもしれない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	三陸道が開通した事で物流や観光で大きな成果があると思う。その反面、地域の商店は車の流れが変わり、活気が無くなっているように感じる。新たに人を呼び込む活動が必要だ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	人手不足等の課題の回復に至っていない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	地域経済が余り回復していないというより、もともとうちの地区は商売に関わることはかなり冷え込んでいたので、回復したと言っても過言ではないかも。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	当地では漁業者の漁船、漁具等の復旧、農業者の農地復旧、農機具等の復旧は既に完了し、商業者も店舗等の再建は完了したが、極端な少子高齢化でいずれも従事者や購買者が減少している。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興工事が進み作業員(他地区より来ている)が減少し飲食店等の売上が減少。 復興道路の開通により被災地の道の駅等商店による観光客が減少している。 若者の人口流出により労働力不足の為事業継続できない会社が増加中。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災だけが原因でないと思う。地方経済は低下しているように思う。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	地域経済、何を持ったの地域経済なのか…全く進歩もなく一発屋復興イベントだけが先走り…将来の安心して住める地域経済には向かっていない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	浜が不漁だとよく聞くと地物の海産物は震災前より値上がりしたと感じる。工事関係者が少なくなると人減ったと感じる。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	4月に転居してきた関係でこの地域の比較についてわからない。
無回答	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農林水産業に関しては、ほぼ回復しているように思う。商業は震災後、街並形成が減少し、店舗数も減り、人通り(人の通行数)もかなり少なくなっており、経済活動は縮小しているように思われる。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	当地は防潮堤などの防災設備は完成し震災前よりも増強された。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前と変わらなくなった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	国道45号線、野田村米田地区の工事がもう少しで完成するものと思われる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	復興道路が開通し、明るいニュースとして喜びを感じている。防潮堤も完成し、海が見えにくくなったが安全・防災のための施設としてみている。教育関係者として復興教育の重要性を常に意識しながら子ども達への指導を行っていきたい。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興公園、復興道路が完成した。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	県内各自治体で防災マップの見直しが進んだと感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事も着実に進んでおり防災面におけるハードの整備は進展している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	湾口防潮堤の完成 雨水ポンプ施設の完成 東部地区の道路整備がまだ続いている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤は整備されつつあるが、避難訓練の参加者が少ないと感じる。いかに災害に強い町をつくっても住民の意識が低ければ意味がない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤については修復が完了しているものと見られるが、この地域においては台風10号の被害が大きく、この部分についてはこれから県の河川工事が本格化して来るものと思われる。ただし用地買収の作業の難航も想定されており進捗にはやや時間を要することが懸念される。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の建設は、遅れながらも進んでおり、安全度が高まっており、安心感はある。昭和35年のチリ地震津波をきっかけに、今回のような対応ができていればと悔やまれてならないが、当時の、日本の国力(経済面)を考えると無理であったかとも思う。災害対策は、すべて早め早めの対応が(あらゆることを想定して)重要である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤工事の進捗、三陸自動車道の整備などが進んだ。避難手順にマニュアル化や浸透などを感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	復興工事などまだ終わってない所があるのでまだまだもう少しと思われる
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	高台に家を建設したことにより災害(津波)には対応できると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	旧気仙町今泉の復興地も今年末に完成との事。復興宅地を待っている方もいるが、他町村に移った方が多い。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	かさ上げ工事はほぼ整備されている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤工事が進み、安心感は増したと思う。でも海が見えない事に淋しさを感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	尊い命の安心安全のための、被災地防潮堤工事の全容が、明らかになってきた。巨大な防潮堤が町を囲み、海の見えない防潮堤に異様さを感じる。高台地からは海が望めるが、海の見える自然が遠くなってきていることは寂しい。良い方に向かうか、悪い方に向かうか、今後の子ども達の生き方がどのようになるのであろうか予測不明である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の建造は進んでいる。あと2年もすれば完成すると思う。しかしソフト面ではまだこれからそれぞれが継続的にやっていくことがあると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	山田町内では防潮堤・水門工事が盛んに行われている。完成まであと2、3年かかると思われる。完成すれば今までの津波であれば防げると思う。道路も広く直線に整備され避難しやすくなった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤も完成に近づいている。避難場所の整備も進んだ。復興道路も次第に姿が具体的に見えてきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の補強工事や避難路の新設工事など少しずつ進んでいる。復興道路も同じ状況で少しずつ進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	復興道路が完成に近づいている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤工事がまだで、海岸からの乗り越し道路が進んでいない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	まだ防潮堤が完成してないから。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	まだ防潮堤が完成してない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード事業は終盤になり海の見えない町なみに住民が慣れ初めている。避難訓練の参加者が減少している(安心感なのかわからない)。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	復興道路が徐々に完成し、防潮堤などの完成もあり、目に見える形での前進を感じられる。小中学生が熱心に防災教育に取り組み、それが大人に伝播し意識が高まっている印象。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤ができてその近くに公園が整備されている。家族連れでも楽しめる広い公園で良いと思う。もしもその場所にいた時、大きい地震があったらどう避難するか少し不安に感じた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	災害に強い安全なまちづくりは人々の意識の高さが重要であると考えている。地震津波だけでなく台風、大雨による河川の氾濫や土砂崩れなどの災害を防ぐための堤防や砂防ダムの見直し、避難所との連携など住民を巻き込んで再検討していければと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	着実に防潮堤の建設等が進んでいるため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤の整備が進んだ地域が増えたから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	宮古市内を久しぶりに車で通った際、防波堤ができ、川が見えなくなっていたことに驚いた。普段は三陸道を使うのですが、一般道やその周囲の復興が進んだと感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤、避難道、公園等の整備は確実に進んでいる。同時に地域、学校等、様々な面で避難訓練、津波被害(津波だけにかかわらず)等を後世に伝えることを忘れてはいけない。併せて、現在整備中の復興道路が効果的に利用されることを願う(山林伐採による環境破壊、人口流出等が危惧される)。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	三陸道路、防潮堤、土地のかさ上げが目に見え整備は進んでいる。最も大切な気持ちの面の風化が心配である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード的には整備が進み、見るからに強く安全に近づいていると感じるが、今後はソフト面(人的なこと)でも、震災を風化させない、無関心にならないよう内外に発信していくことが大事だと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	だいぶ進んだと思うが、道路が通行止めになり、歩行者や車の運転に気をつけるところが多いと思う。早く歩道を整備して欲しい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	「震災時に役立つ情報」をクリアファイルにプリントされたものを(たぶん)全世帯に配っており、日頃から住民たちにもしものときの意識づけを行っていると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	縦貫道がつながった事はとても大きい。商業にも繋がるが避難等、救援時に期待できる。ただ私のように避難で使えると思っている人も多いと思うので避難先ではないことの周知や改めてその地域の避難場所の確認をしたほうが良いと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	高速道路の利用回数が増えた。アクセスも非常に良くなった。防潮堤も少しずつできあがりつつあるが、海を見られる箇所はポイントポイントにしかなくなった。安全な面は強化されてきたが、景観はその代償。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	まだ防潮堤工事が終了していない箇所があるが、安全なまちづくりは着実に進んでいる事を感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	整備中。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤の工事はあと少しで完成のようだが、水門の工事はまだかかりそう。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	設備は整ってきているので、住民の防災意識の醸成は今後も必要だと感じている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	「災害に強い安全なまちづくり」を復興のメインにしたはずだが行政にはそこに住んでいる住民の意見に耳を傾ける姿勢が乏しいと思わざるを得ない。集団移転地は以前から水害の危険がある場所であり、津波への安全性はもちろんの事、水害に対しても同時に考えて造成されるべきであった。住民の提言を無視し、災害に対しての安心安全な移転地になっていないのは非常に残念な事である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤や道路などほぼ整備が終わってきた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の建設は着々と進んでいる様に見えるが、完成にはまだ時間がかかるように見える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の工事がまだ完成していない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤工事は進んではいるが、防潮堤工事が完了しない限り震災前より危険な状況。避難路についても地域住民はわかるかもしれないが市外の方々や観光客等是有事の時心配。早期完成を願っている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤水門の工事は進行中だが私たちが住む地域は他の地域に比べて遅れている感じがする。完成までにはまだ時間がかかりそう。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の扉が付いていない。主要地方道も工事が進まない。取付道の打ち合わせもしばらくない。担当者が変わっても打ち合わせがなく進んでいる様だ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤の完成が遅れている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	まだ整備が不十分な漁港、防潮堤がある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤はできてきたけれども、守るべき住宅は高台移転でほとんどない。一人暮らしの老人はほとんどいなくなって空き家が出てきた。仮設店舗も年とともに苦しそうになっている。いつまで続けられるのか？ どんどん寂れていく地域の前方に巨大な防潮堤がそびえたっているだけだ。何を守るのか？
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤の整備が進んでいるので安心して見ている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の工事の途中。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤が本当に安全なものかどうか不安な点もある。また防潮堤による美しい海の景観が失われたことも残念な事と思っている。安全のための代償が大きいような気がする。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	以前よりは整備されている。手付かずに見えるところもある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	特に進んでいるとは感じられないが、私が知らないだけかもしれません。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤の工事や三陸道の整備が進んでいる。防潮堤の工事が進んでも万が一災害が発生したとき避難するのは本人の判断になってしまう。家族や地域で早めの避難ができる体制が必要。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	平成の時代を振り返る時地震や風水害等自然災害が多い時代という。今後も同様の災害が発生する可能性は高い。それに対する備えと言えば、地域での弱者救済についての情報も乏しく、まさに隣の人は何する人ぞの感がある。地域の連携にしても形はあるものの中味はないに等しい。洪水や土砂災害時には使用できない場所が依然として避難場所として指定されている現状を見ると空恐ろしい気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	他地域の自然災害、地震が頻発するなかで、防災について考えるきっかけが少なくない。考えることはあっても行動に起こしにくいのでそれを促すイベント等を開催してみるのも策かと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	津浪対策の有力な施設である防潮(浪)堤の建設や田代川水門の建設は前回調査のときよりは進んでおり、一日も早い完成が待たれるところである。また、防浪堤の陸側やひ門の数を少なくするために新たに建設される防浪堤を乗り越えて海岸から山側の国道45号線を結ぶ高さ14.7mの道路の工事が5月27日から始まっており完成が待たれる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前に区画整理した区域と、震災後、被災により区画整理した区域との整合性が無く、避難に危険を感じる。住民の意見を十分に取り入れなかった従来の免罪符のようなワークショップでは人命に関わることは議論すべきではないと解った。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤等の工事が進むにつれて周辺の通路等の変更がある。現場の人の説明を求めろが、県の担当の説明が欲しい。3ヶ月に一度くらい来て説明してほしい。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	防潮堤の完成が遅い。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	いまだ工事中の地区も多く達成度については分かりかねる。
無回答	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤、避難路などはほぼ整備され、ハード面での安全性はかなり確保されたと思う。

令和元年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発 行

令和元年9月12日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945

【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)